



不知火っ子だより

第2号

平成29年4月26日 文責 校長 吉永博美

大事にしたい「不知火小学校校歌」

「ゆかあり かしいこき しいらぬいのー♪」と1年生の教室から歌声が聞こえてきます。校歌を練習しているのです。毎年、入学してからすぐに校歌の練習をします。難しい言葉もありますが、テンポのよいメロディーなので楽しく歌いながら覚えることができます。運動会の閉会式では、その成果を発揮してくれることでしょう。

昭和7年に不知火東部尋常小学校、不知火西部尋常小学校が合併し、不知火尋常高等小学校となり、昭和8年に現在地に校舎移転をしています。その後戦争を経て、昭和22年に不知火村立不知火小学校と改称されました。校歌が制定された年月日は詳しく分かりませんが、昭和30年前後ではないかと思います。作詞者は、県内三百を越える学校の校歌を手がけている山口白陽氏、作曲者は金守伸一氏です。格調高い歌詞と、軽やかで明るいメロディーの校歌は、子どもたちに親しまれ、歌い継がれています。昨年の地震による被害で、本校の新築が決まり、平成32年度からは新校舎での授業となりますが、不知火小学校の伝統とともにこの校歌も大事にしていきたいものです。

不知火小学校校歌

作詞 山口 白陽
作曲 金守 伸一

一 ゆかりかしこき不知火を
名に負うさとの誇りなる
学びの窓にむつびつつ
集う我等に望みあり
おお望みあり

二 地に海山の幸多く
人の平和の色深き
里のめぐみにひたりつつ
学ぶ我等につとめあり
おおつとめあり

三 そのかみここに生いいでて
今も菊池の香にのこる
聖の徳をしたいつつ
はげむ我等に力あり
おお力あり

四 やがては国を負うべしと
朝夕の潮ざいに
息のおたけび和せつつ
きおう我等に光あり
おお光あり

現代語訳

一 縁があつてここに学んでいますが
不知火という素晴らしい地名を持つ
ふるさとを誇りに思っています。
学校で仲良く学んでいる私たちには
大きな夢があります。

二 私たちが住んでいるこの土地には海
や山の恵みが豊かです。
そこで学ぶ私たちにもしっかりとや
るべきことがあります。

三 ずっと昔に不知火にお生まれになり
今も菊池市の文化にその名が残って
いるというえらいお坊様（大智禅師）
の業績を学ぼうと頑張っています。
私たちにも大きな力がわいてきます。

四 大きくなったらわが国を背負ってい
きたいと
朝から夜まで、海に寄せては返す波
の音と同じように
元氣よく大きな声を出して頑張っ
ています。
張り切る私たちは明るく輝いています

授業参観、学級懇談会、PTA総会、部活動総会へのご参加、ありがとうございました。おかげ様で新年度のスタートを切ることができました。

